

平成30年度第2回狭山市スポーツ推進審議会会議録

開催日時 平成31年3月19日(火)
午後7時00分から午後8時10分まで

開催場所 狭山市役所5階教育委員会室

出席者 伴好彦委員、渡邊学委員、新井勝委員、新井忠洋委員、星恒夫委員、
八重樫節子委員、山崎康雄委員、小澤まゆみ委員、伊藤由美子委員、
村川祐美子委員

欠席者 なし

事務局 向野教育長、滝嶋生涯学習部長、五十嵐スポーツ振興課長、高野主幹、
須賀主査

傍聴者 なし

議 題

(1) 平成30年度社会体育関連事業実施状況について

平成30年度に実施したスポーツ教室・行事及び体育協会との共催事業の状況について、資料をもとに説明をした。

質 疑

委員 健康ダイエットピラティス、スポーツ吹矢教室は、平成29年度に比べ参加人数が減っているが、このことについて、どのような分析をしているか。

事務局 ピラティスについては、指定管理者でも同様に実施していること、また、実施時間帯や場所が市民のニーズに対応していなかったことによるものであると考えており、吹矢教室については、リピーターの参加が多く、新規の参加者への周知が十分でなかったことによるものと考えている。

委員 パラリンピアン講演会を、庁内関係課と連携して実施されたことは、とても良かったと思う。4月から「狭山市協働によるまちづくり条例」が施行されるので、今後も関係課や関係団体と連携をとりながら、スポーツを推進してほしい。

委員 今年は猛暑であったが、教室・行事を実施するうえでの暑さ対策について。
事務局 夏場の教室については、水分補給をこまめにとり、休憩をとりながら実施した。
会長 熱中症については、予防などの知識についても参加者へ周知できると良いと思う。

委員 堀兼・上赤坂公園の利用状況について教えてほしい。

事務局 サッカーの大会が年間を通して実施されており、平日には、グラウンドゴルフ大会などが行われている。また、3月3日に、連携協定を締結しているエルフェンススポーツクラブと市の共催で、なでしこリーグ・プレシーズンマッチを実施し、

雨天の中、500人ほどの来場者があった。

委員 各教室について、定員を設けているのか。

事務局 各教室とも、定員を設けている。

委員 定員に満たない場合、実施を見送ることはないのか。

事務局 実施を見送った事業はない。

議 題

(2) 平成31年度社会体育関連事業計画（案）について

平成31年度の各教室・行事、体育協会事業、レクリエーション協会事業、スポーツ推進委員連絡協議会事業及び学校体育施設開放事業について、資料をもとに説明をした。

質 疑

委員 障害のある方が行える教室を予定しているか。

事務局 各教室とも、障害のある方も参加していただけることとしているが、障害のある方のみを対象とした教室は計画していない状況である。

委員 今年1月に中央公民館で開催されたあけぼの教室では、障害のある方も健常者と一緒に「ボッチャ」を行い、楽しむことができた。今年度、パラリンピアン講演会が開催されたので、ぜひこの機会に障害のある方も一緒に参加できる教室を実施していただきたい。

委員 日本体育大学との連携事業は、平成30年度同様に中学生を対象とした講習会なのか。

事務局 連携事業はトップレベルのコーチングを経験できる良い機会であるので、引き続き、中学生の部活動の種目を対象に実施したいと考えている。

委員 体力テスト会にスポーツ少年団に加入している子供たちも参加できるのか。また、平成30年度の指導者養成講座の対象がスポーツ少年団の野球部会だったとのことだが、ぜひ対象の幅を広げてほしい。

事務局 小中学生は学校指導要領に位置付けられた種目の測定を学校で行っている。教育委員会主催の体力テスト会については、20歳以上を対象に実施している。

指導者養成講座については、今年度から、対象者を種目ごとにしぼり、スポーツ少年団の指導者と保護者を対象に、野球におけるスポーツ障害の予防と対応について実施したものである。平成31年度も柔道整復師会にご協力をいただき、対象者を検討していきたい。

会 長 確かに、医学的・科学的な見地から少しはずれた指導を行っている場合もあるかもしれないので、良い方向に向かわせられるような手立てが講じられると良

いと思う。

委員 初心者対象の教室が7つあるが、先ほど平成30年度の教室の説明の中で、吹矢教室はリピーターが多いということだったが、平成31年度の募集をする際、初心者とリピーターとの振り分け、手段について伺いたい。

また、指導者養成講座について、スポーツ指導者は、あらゆる種目の対応について知識を得ておく必要があると思う。各種団体に参加を呼びかけ、横のつながりを築きながら、受講するのも良いのではないか。

事務局 初心者の位置付けは、初級レベルの技量を習得したい方に受講していただく教室である。吹矢教室は、平成30年度に6人のリピーターがいたが、昨年受講して、その後、継続していない方であり、今年度も初級レベルでの受講内容を希望した方々であった。

委員 指導者養成講座については、野球に限らず、あらゆる団体も対象にしていただきたい。

委員 指導者養成講座の講師をしている柔道整復師会も、対象はスポーツ少年団の野球から、サッカー、バスケなどに順を追って移行し、その後、スポーツ加盟団体へと繋げていきたいと考えていたので、皆さんの意見を持ち帰り、さらに検討させていただきたい。

委員 教室については、市民の要望から開催されるものだと思うが、スポーツ団体から要望できるのか。

事務局 意見を伺い、検討することはできる。

委員 学校体育施設を開放している立場から申し上げますと、現在、AEDは職員室と体育館に置いてある。校庭も開放しているので、AEDを使用するときには、昇降口から見えるところに設置してあるので、ガラスを割ってくださいと利用団体に話しているが、安全面を考えると校庭にも設置願いたいところである。

委員 レクリエーションの日米ジュニア交流事業について伺いたい。

委員 平成30年度の実施はなかったが、横田基地でスポーツ・文化交流を行うものである。以前は、バスケットボールをしたり、狭山の七夕祭りを一緒に観て回ったこともある。交流事業の第1回目は、日本ペットボトルクラフト協会狭山支部が横田基地でペットボトルを飛ばしたことによる交流会であった。

委員 以前は、スキー教室も実施されていたが、復活されない理由はあるのか。

事務局 宿泊を伴う事業であるので、ニーズ等の把握を含め検討させていただきたい。

委員 子供たちの体力向上のために、球技を使った大会など実施できるといいと思う。学校ではどうか。

委員 小学校ではボールを投げることなど、一つに特化した指導はしていない。最近の子供たちは、乳幼児のころからボールを投げる動作を身につけていないので、小学校の低学年で、自分の思いどおりの動きができる体を作っておくことが、

今の小学校の課題であると捉えている。運動能力テストの結果は、埼玉県は全国で上位に位置しているが、「体育が好き」である数値は低いので、運動をすることが好きになるように取り組んでいる。

事務局 スポーツ振興課としては、球技に特化したものだけでなく、子供向けや親子で参加できる教室なども計画しており、運動をするきっかけとなり、運動習慣を身につけてもらえることを目的に取り組んでいる。

その他（事務局より）

- ・市民総合体育館アリーナ床改修工事について

老朽化により床の全面張替え工事を本年1月から3月まで実施しており、3月27日の完了検査を経て、4月1日からリニューアルオープンする予定である旨報告をした。

- ・武道館の整備について

立地場所を「市営住宅上諏訪団地跡地」とすることが政策決定され、平成34年度の供用開始に向け、平成31年度中に設計業務を完了し、平成32年度から33年度にかけて、本体及び外構等の工事を実施する予定である旨報告をした。

- ・狭山市スポーツ推進計画について

平成33年度の新たな計画の策定に向けて、平成31年度は市民を対象としたアンケート調査を実施する旨報告をした。

会議資料

- ・平成30年度第2回狭山市スポーツ推進審議会 次第
- ・平成30年度社会体育関連事業実施状況
- ・平成31年度社会体育関連事業計画(案)